

○事業所名	らふたあいわど		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 28日		令和7年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18件	(回答者数) 14件
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日		令和7年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの主体性を大切にされた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択や自己決定の力を育めるよう、活動内容等を一方的に決めて提供するのではなく選択肢があるようにすることを心がけている。 こどもが自分の想いを素直に言えるような信頼関係、または雰囲気作りを大事に支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの発達に応じたより充実した適切な選択肢を提供する。 こども達自身が活動の企画や準備、運営に関わることが出来る機会の提供を検討していきたい。 こどもが自分で設定した目標に向けて取り組んでいくことの支援を行いたい。
2	保護者支援に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> 電子ツールを使い、簡単に情報共有やコミュニケーションが行えるようにしている。 学校休業日の昼食や送迎への柔軟な対応といった、療育以外で高い保護者ニーズに細やかに対応している。 日頃から保護者の様子を送迎時等に確認し、少しでも変わった様子が見られた際には声を掛け話を聞くように心がけている。必要な場合には他機関への連携もしている。 	ペアレントトレーニングについての知識をより深く身につけたい。
3	広い建物と自然に囲まれた環境が提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> 大きな住居用の建物を使用し、アットホームな雰囲気の中で支援を行っている。 ラッキョウ畑が広がり海が近いといった自然豊かで落ち着いた環境の中で過ごすことが出来る。 	より安全で過ごしやすい環境を提供するため、将来的な建物の改修を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	報連相といった職員間の業務上のコミュニケーションが不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> 個人間では話をするが、職員全員が揃ってのミーティングが不足している。 配置の半数を占める新人職員への教育機会が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングを毎日の業務ルーティンに組み込み、細やかな情報共有を行う。 新人職員への教育機会を増やす。
2	リハ職の配置があるにも関わらず、十分に専門性を発揮できていない。	<ul style="list-style-type: none"> リハ職による専門的な支援の実施方法について、事業所として十分な検討を行えていない。 リハ職が1名かつキャリアが浅いため、実行に向けて必要なノウハウが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所としてどのようにして、専門的支援を実現していくのかについて検討を進める。 他事業所や外部機関の力を借りながら、ノウハウを学んでいく。
3	ペアトレ(ペアレントトレーニング)への取り組みが不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所としてペアトレに関する知識が不足している。 	ペアトレに関する知識を学び、その上で当事業所でのニーズの状況などを勘案しながら実施の可能性を探る。